

▼ 昨年の11月に生徒のみなさんへ授業評価アンケートを実施しました。その中で、生徒のみなさんから授業をする先生へ授業改善のための意見をたくさんいただいたので、その意見に対しての対応も含めてご紹介します。

＜課題を終えた後の対応＞

- ・ 班活動などで課題を考えた時、最後に先生がもう一回説明してほしいです。
- ・ 課題に対しての答えをだしてほしい
⇒ 課題に対して自分の考え方が、それでいいのか、改善が必要なのか、なんとなく理解したかな?という状態で授業が進んでいるからだと考えました。先生やみんなの意見を踏まえて、誰かの意見を共有したのならば、その考えで良いのかどうか、(必要に応じて教師もアドバイスしながら)検証する時間をしっかり取るようにします。

＜班での活動時間への対応＞

- ・ 班活動やみんなとの交流(時間)を増やしてほしい。
- ・ 考えてもないのに、答え教えてとか言ってくる人がいるので、自分で考えるのを大事にしたいです。
- ・ 班活動が意味ないときは班にしないでほしい
⇒ ただ班にしても、交流する意味がない。もしくは、まだまだ班で話し合う時間が欲しい。ということですね。先生たちは、みなさんにとって班にする意味のある『課題』になっているかを授業準備で考えるとともに、班活動を終えるタイミングを丁寧に見取っていきたいと思います。(みなさんからも授業中に、もう少し話す時間が欲しい、とか、もう全員納得してるから班で話す時間は終わりで大丈夫など、伝えてもらってOKです。)

＜意見を共有するときの指名への対応＞

- ・ 生徒を当てるときに全員にまんべんなく当ててほしいです
⇒ 全員で学んでいく授業にするためにも偏った指名にならないよう教員で心がけていきます。なので、「分かるところまでOK」なので自分なりの意見をみなさんも言えるように協力をお願いします。

授業は先生が教えるのではなく、先生も含めてみんなで「学ぶ」ことを大切にしているので、今回みたいに自分たちの授業を良くするための提案は、どんどん言ってくださいね。

